



炊飯調理室



煮炊き調理室

夏休み後は
楽しい学校の
始まり!

新しい学校給食センターが 完成しました!

荒尾市・長洲町学校給食センター

食物アレルギーにも対応した施設となり
子どもたちが安心して食べられる給食を
提供できる給食センターへ

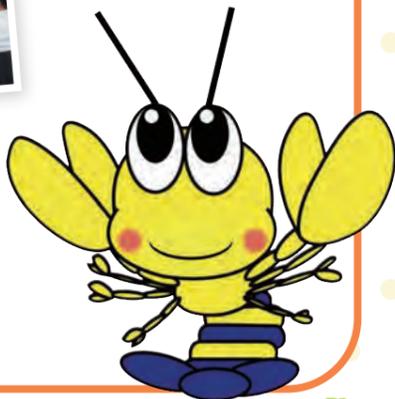
荒尾市と長洲町が共同で建設していた、新学校給食センターが完成し、8月12日に落成式が執り行われました。

施設の名称は「荒尾市・長洲町学校給食センター」となり、9月からは、新学校給食センターによる安心安全でおいしい学校給食を荒尾市と長洲町の子どもたちに届けます。新学校給食センターは、食物アレルギー対応室設置をはじめ、冷却機能設備による冷たい和え物なども提供することができます。

これまで、荒尾市と長洲町は設計・建設段階から共同して整備を進めてきました。これからも長洲町とのパートナーシップにより、より良い学校給食の提供を行っていきます。

災害時には、米飯を
3日間炊出しできる
機能も備えているん
だって! すごいね!

落成式の様子



これは
何だろう?



何か
見つかった?



生物教室

川に入って採集・観察
夢中になった夏の思い出

上井手の岩本橋周辺で、生き物の採集・観察、河川水を調査して水環境を学ぶ「生物教室」を開催し、大牟田市と荒尾市の小学4年生から6年生が参加しました。子どもたちは、指導をして来てくれた中島博士のアドバイスのもと、実際に川の中に入り、網を使って石の裏や植物の影に隠れている魚や虫などを採集しました。採集した生物は集会所へ持ち帰り、観察。みんな不思議そうに生物を眺め、珍しいものを見つけたら質問するなど、どんな生物がいるかを学ぶことができました。

参加した児童の保護者は「上の子の時から参加しています。コロナ禍でしばらく開催がなかったのですが、今年参加できてよかったです」と話していました。興味津々に採集や観察をしていた子どもたち。きつこの夏、故郷の川で体験したことは、子どもたちにとっても素敵な思い出として残ることでしょ。

教えてくれた
先生

河川改修の影響もあり、捕れる生物も少なくなってきています。「アサリ」が捕れなくなってきているのは川や山、田んぼなどの生物が減っているのも関連しているようです。この教室を通して子どもたちが色々なことを学び、身近な生物を守っていくことを知ってもらえたら嬉しいです。



福岡県保健環境
研究所
なかしま じゅん
中島 淳 博士

体験した
児童

府本小4年
たかた りゅうのすけ
高田 竜之介さん
生き物が好きで家族で干潟にもよくいきます。今日は珍しい生き物を探りたくて楽しみにしていました。



府本小4年
あしつか ひろき
芦塚 浩希さん
僕は釣りが趣味で、この川に来たのは初めてです。今日調べたことを夏休みの自由研究で発表したいです。

8月4日

天気

